

ブラジル大統領選挙について

大和証券投資信託委託株式会社

ブラジルでは10月3日(現地)、現在のルラ大統領の任期満了を控え、大統領選挙が行われました。

ブラジルの選挙管理当局の速報によると、開票率99.96%時点では、ルラ大統領の後継者である与党・労働党のルセフ候補が票を伸ばし過半数に迫ったものの、野党・ブラジル社会民主党のセラ候補(前サンパウロ州知事)は事前予想通り30%を超える票を獲得しました。また、3位には前環境相で野党・緑の党のシルバ候補が健闘し、20%近くの票を獲得しました。

3候補の得票率(開票率:99.96%)

1位	ジルマ・ルセフ候補	46.90%
2位	ジョゼ・セラ候補	32.62%
3位	マリナ・シルバ候補	19.33%

ブラジルの大統領選挙では、当選には有効投票数に対して50%を超える票を獲得する必要があるため、今回の投票では、当選者が確定しませんでした。この結果、10月31日(現地)に、ルセフ候補とセラ候補の上位2候補による決選投票が行われることになりました。両候補の間では、現在、主だった対立軸が見当たらない状況です。

今回シルバ候補が事前予想を上回る支持を獲得したため、今後、同氏がいずれの候補を支援するのかが注目されます。しかし、ルセフ候補が50%に迫る票を獲得しているため、現段階では同候補が優勢な状況に変わりはない見込みです。

ルセフ候補はルラ大統領の後継とされているため、同候補が当選した場合、ブラジル経済の高い成長率、安定的な社会情勢などに大きな変化はないと考えております。

投票に関する数値の出所は「ブラジル高等選挙裁判所」のWebサイト、2010年10月4日(現地) 午前2時20分時点

以上